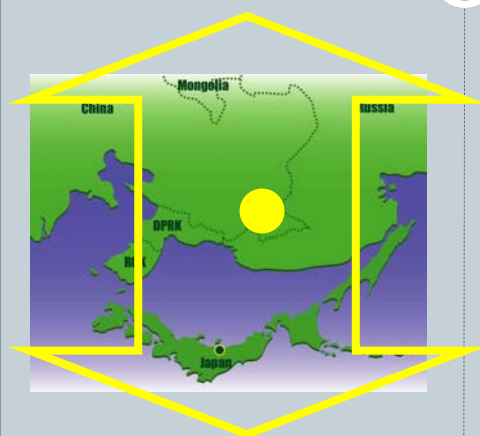


## 北東アジアの食料安全保障

2008 POLICY PROPOSAL SEMINAR

© 2008 ERINA

### 食料問題は北東アジア経済協力の原点



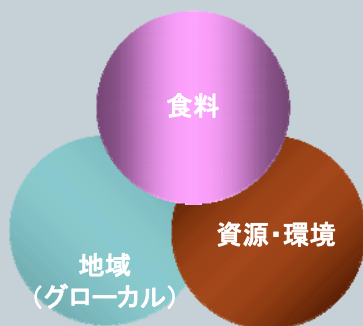
- 1979年、故・佐野藤三郎氏（亀田郷土地改良区理事長）が中国の王震副総理の依頼を受け、黒龍江省の三江平原の開拓に協力。それが次第に発展し、北東アジア協力を推進しようという動きに発展した。
- 三江平原には、日本の耕地面積より広い開墾可能な荒地が**670万ヘクタール**もあった。

## ERINA=新潟大学=東京大学による共同研究

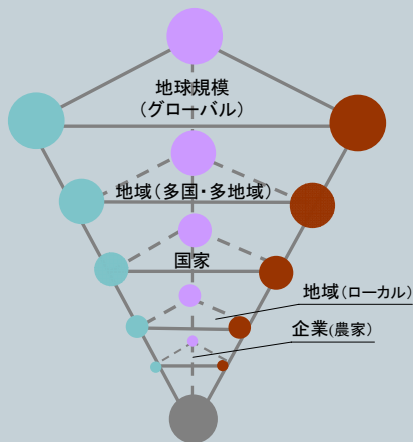
- 研究方法
  - ①文献調査
  - ②統計分析
  - ③アンケート調査
  - ④ヒアリング調査 など
- 研究期間  
**3年間(平成19年度～平成21年度)**
- 初年度  
農業・食料部門に関する北東アジア域内の地域特性・地域資源についての検討

## 食料問題の多様性

### 食料問題の3つの側面

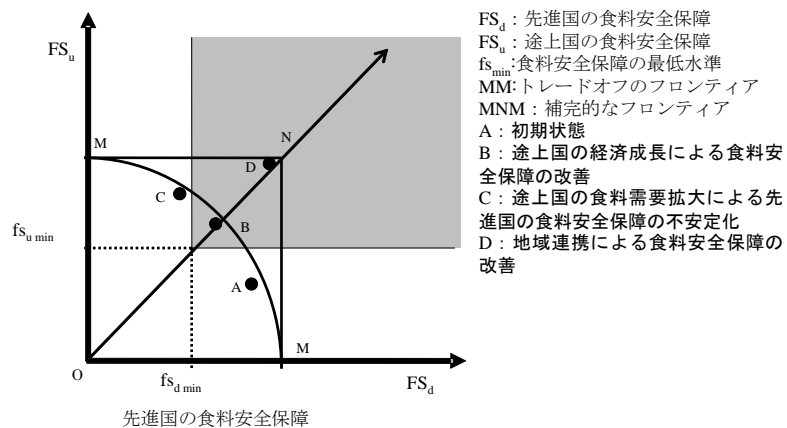


### 食料問題の地域的多様性



木南莉莉

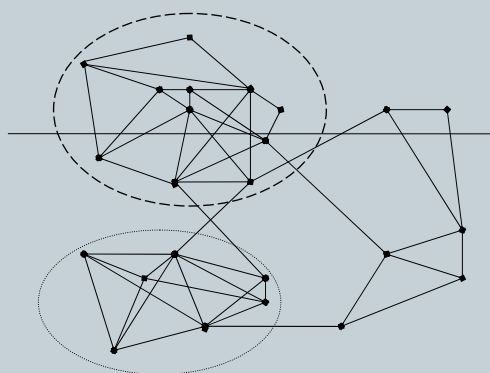
## 食料安全保障と地域連携



木南莉莉

## 北東アジア食料産業クラスター

### リージョナル食料産業クラスター

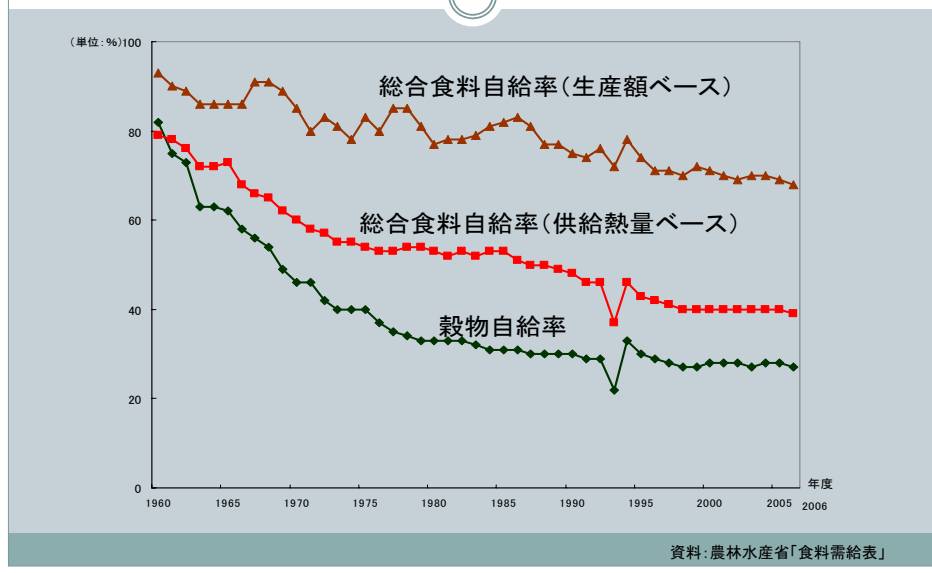


国境

### ローカル食料産業クラスター

木南莉莉

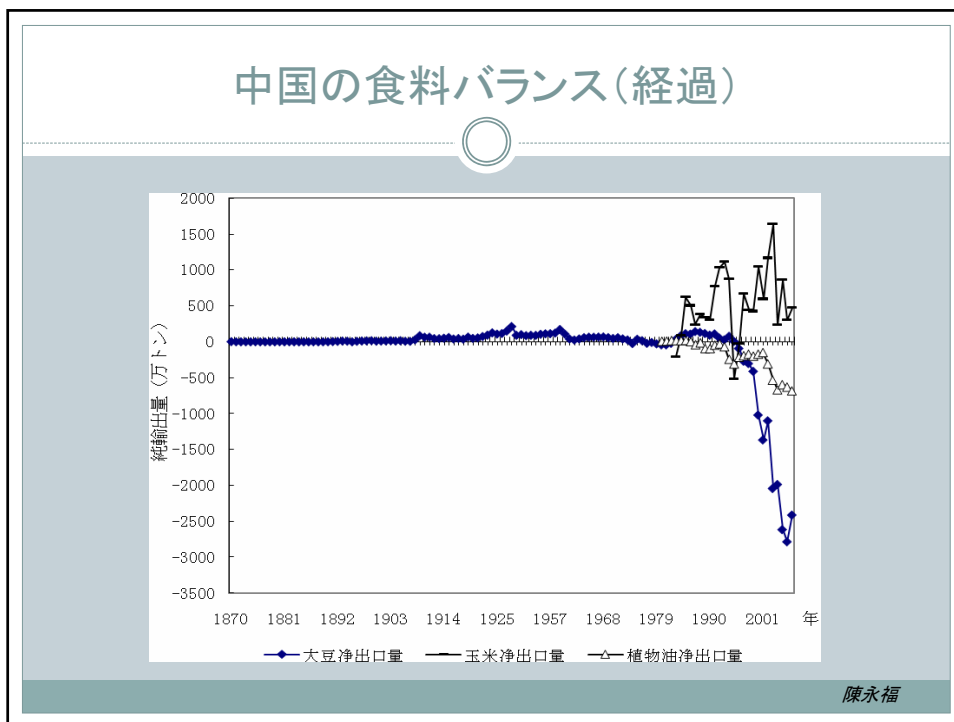
## 日本の食料安全保障(食料自給率)



## 日本の食料安全保障(食料・農業類型)

- A) 消費の減少に伴って国内生産も減少したものの、高い自給率を維持している米やいも類
- B) 輸入農産物への代替が急速に進んで生産が縮小した麦や大豆。油糧種子としての大豆は海外に全面依存
- C) 国内生産は比較的堅調であったが、近年退潮傾向が強まり、輸入農産物にも押され気味の野菜や果実
- D) 比較的高い自給率を維持して国内消費を支えているものの、原材料である飼料穀物の多くを海外に依存している酪農や養鶏
- E) 消費が飽和するなかで、輸入品に対抗する差別化で生き残りを模索する肉牛生産や養豚。これらの部門も飼料穀物は海外に依存

正源寺眞一



### 中国の食料バランス(予測)

項目		供給			需要			貿易量(輸入量)		
		2010	2020	2030	2010	2020	2030	2010	2020	2030
国際研究	アメリカ農業部	451.2	502.6	-	480.1	563.1	-	28.8	60.5	-
	ブラウン	322.5	299.7	275.6	473.6	558.2	649.6	151.2	258.4	374
	IMPACT	416.7	448.9	-	450	490	-	33.3	41.1	-
	黄ほか	486	570	-	512	594	-	26	24	-
	Nyberg/GTAP	-	661	-	-	727	-	-	66	-
	世界銀行	483.5	-	-	501.8	-	-	18.3	-	-
	日本海外経済協力基金(OECF)	500.3	-	-	628.1	-	-	127.8	-	-
国内主要研究	中国国家経済計画委員会経済研究所	-	-	-	-	-	-	-	-	63
	農業科学院	-	-	-	-	-	-	20	33	-
	科学院国情分析グループ	-	-	-	-	-	-	50	-	-

陳永福(単位:100万トン)

## NICE分科会での課題

- 中国は、自国の食料安全保障政策に加え、地球規模での食料安全保障に貢献しうるより積極的な政策、食料生産の指標を掲げることができるのではないだろうか。
- 日本や韓国は、中国、ロシア、モンゴルなど北東アジア諸国とともに、食料生産・加工・流通に関する国際的なクラスターを形成するため、自らの経験や技術を通じて貢献する道を示すことができるのではないだろうか。
- ロシアの広大で未利用な国土は、私たちには未知数ながら、食料安全保障に貢献しうる大きなポテンシャルを有しているのではないだろうか。

## 今後の北東アジアの食料安全保障研究

### (2年目)

- 食料クラスターの実態分析  
モデル地域の実態調査、アンケート調査
- 食料クラスター形成メカニズムの分析

### (3年目)

- 食料クラスター形成のモデル分析
- 北東アジア国際食料クラスター形成に対する政策提言